

AEON MAGAZINE

For a Sustainable World

March 2021

Vol. 72

特集

東日本大震災から10年 未来へつながるまちづくり

SDGsインタビュー

沖縄の自然や文化を
次の世代へ

見ごたえあふれるパラスポーツの世界

人と馬の信頼関係から
生まれる美しさ



東日本大震災から10年

未来へつながる まちづくり

2011年3月11日14時46分。

大地震、大津波、火災、そして原子力発電所の事故。

経験したことのない災害に襲われたが人々は立ち上がり、前を向いた。

以来、10年。東北で実を結び始めている復興から創生へという姿を知るために、

海とともに生きることを決めた宮城県の女川町、

町の新たな特産品で町おこしに挑戦する福島県の広野町、

そして新エネルギーを復興の中心に据えた福島県の浪江町を訪れた。



キモノデザイナー

斉藤上太郎

さいとうじょうたろう

京都府生まれ。近代染色作家として活躍した祖父・父の跡を継ぎ、27歳でキモノ作家としてデビュー。以来、日本を代表するキモノデザイナー、テキスタイルアーティストとして活躍中。

日本の伝統衣装、着物。その歴史が育んできた技や美意識を踏まえつつ、現代に合ったファッションとして着物を提案するキモノデザイナーの斉藤上太郎さんに、着物の魅力をうかがいました。

祖父の代から着物の染色を家業として、いつも身近に着物があつた斉藤上太郎さん。「着物は日本人のルーツや根幹を感じることができるもの」と語る。「着ると現代生活からスイッチが切り替わって、たとえば日本家屋に合った立ち居振る舞いが意識できたり、所作に細やかさやていねいさが生まれた

ります。また洋服では表現できない、日本人らしいエレガントさやセクシーさを醸し出せる。それが着物の魅力だと思います」

着物は日本人のライフスタイルが育んできたものだが、生活が欧米化するなかで、伝統を守るだけでは着物という日本の文化は継承できない、とも斉藤さんは考えている。「価値観は時代とともに変わります。時代が求めている色や柄、素材を取り入れることも着物を次世代に残すためには必要ではないかと思っています」。その発想から生まれたのが、グレーや茶などシックな色合いや大胆な柄をあしらった、今の時代に合った「着物だ。なかでもデニムやジャージというこれまで着物にはなかった素材を使った着物はユニークだ。」ここで

大切なのは、素材のよさを最大限に引き出した着物にすることです。ジーンズのようにあえてステッチを襟元に効かせたデニムの着物は、着物を着なれている「洒落者」に受け入れられた。こうした挑戦が、着物の世界に新しい風と進化をもたらしている。

(次号に続く)



斉藤さんの着物を身に付けたお店のスタッフ。どちらもジャージ素材の着物だ



Contents

- 02 後世へとつながりゆく
日本カルチャーの伝承者たち
Vol. 8 斉藤上太郎 前編

Feature

- 03 東日本大震災から10年
未来へつながる
まちづくり

- 14 沖縄の自然や文化を
次の世代へ

- 16 大いなる哲学を持ち、
エンカルな食の場を提供する
Sustainable Restaurant
Vol. 8
クックフィールズダイニング

- 17 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン
これからも東北の
子どもたちの未来を応援

- 18 見ごたえあふれるパラスポーツの世界
パラ馬術

- 19 シェフパートナーズ料理塾より
Vol. 8 聖護院蕪の蕪蒸し

AEON MAGAZINE

March 2021 Vol. 72

発行日：2021年2月26日
発行所：イオン株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：043-212-6061
ホームページ：https://www.aeon.info/
※本誌の一部を抜粋した英語版、中国語版を
下記ホームページよりご覧いただけます。
英語版 https://www.aeon.info/en/
中国語版 https://www.aeon.info/cn/

本誌上における社外からの寄稿や発言は、必ずしも当社の見解を表明してはけません。

表紙の和菓子

桜吹雪

作：井上 豪（東京マイスター、優秀和菓子職）
梅花亭 東京都新宿区神楽坂6-15
http://www.baikatei.co.jp

この冊子はイオンの情報誌です。
Aeon(イオン)はグループの総称です。



東日本大震災から10年
未来へつながる
まちづくり



約1,000隻あった船の8割が震災で失われたが、漁協と町が連携して2011年7月には魚市場が再開されている。12年初頭から本格的に操業が開始された



下／町のキャッチコピー「START! ONAGAWA」が記された旗。町の人たちの思いが伝わる
左／シーバルピア女川の中央を貫く、幅の広いレンガ道。両側に店舗が並ぶ。海まではもうすぐだ



シーバルピア女川の一角にある老舗のかまぼこ屋(上)。ほかにも食事や買い物、アクティビティなど地元のお店が並び、町の人たちの憩いの空間にもなっている

宮城県女川町

町民とともに 考え、歩んだ10年



宮城県北東部、牡鹿半島の付け根に位置し、太平洋に面した女川町。東日本大震災で、町が丸ごとなくなつたといわれるほど大きな津波に襲われたが、いち早く行政と住民が「丸」となつて町の復興に取り組み、海とともに生きる町をつくり上げてきた。

JR石巻線の終着駅、女川駅。駅舎最上階の展望デッキに上ると、駅前から続く一直線の道が海に向かって延びている。道の両側には町の特産品や海の幸が楽しめる商業施設シーバルピア女川があり、町の人たちや観光客の交流スポットとなっている。10年前、ここから見える場所がすべて津波で流されてしまったとは思えない、そんな風景だ。

還暦以上は 口を出さない

震災後、女川町の復興に向けてまず動き出したのは、女川町商工会だった。行政が行方不明者の搜索や避難所の運営、物



FRKの会合には、多様な業種の人々が集まった

資の手配などに追われているなか、4月1日には「自分たちでできることは自分たちで取り組もう」と会合を開き、19日に女川町復興連絡協議会(FRK)を発足させた。そこには、漁業や商業、水産加工、観光など、地域で仕事をする人たちが業界を超えて集まった。

女川町の須田善明町長は当時県議会議員を務めていて、FRKにはオブザーバーとして参加していた。FRKが打ち出したのは「還暦以上は口を出さない」という方針でした。当時、復興には20年かかると言われていたもので、商工会の会長ら町の重鎮たちは、若い世代に未来を託す、そういう決意だったと思います」と須田町長は振り返る。FRKのメンバーたちは震災後の後片付けが続くなか、連夜集まってこれからの女川町について意見を出し合った。それと



上／駅からシーバルピア女川へ続くレンガ道。女川の海と調和した駅前の空間づくりが、2018年のグッドデザイン賞を受賞した
左／2015年に新設されたJR女川駅。3階の展望デッキから望む海は女川のシンボルだ



歩調を揃えるように、町でも復興の道筋を描き始めた。「町は、FRKなどから広く意見を取り入れて復興計画を策定。その後、私が町長に就任して組織したまちづくり復興協議会やまちづくりワーキンググループにFRKのメンバーが参加し、融合する形になりました。そこにはFRKだけでなく、会社員や主

女川町 須田善明町長

すだ・よしあき●宮城県女川町生まれ。宮城県議会議員を経て2011年11月に女川町長に初当選し、女川の町づくりに尽力。趣味は音楽。「これからは、一人ひとりがやりたいことにチャレンジできる町にしていきたい。個人的には女川が音楽の町になればいいなと思います」

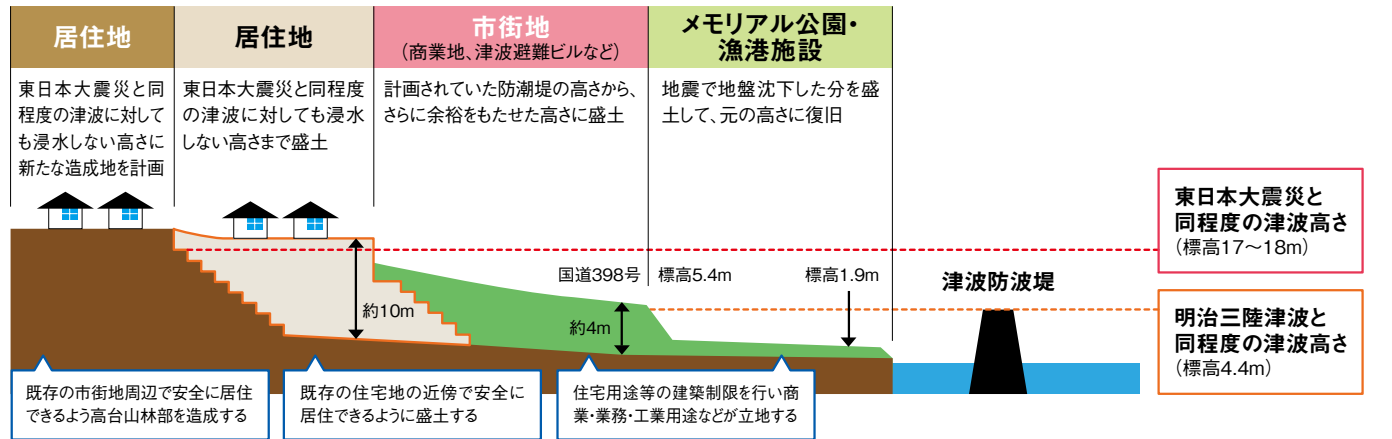




右／震災前、駅前にあった鐘を、シーパルピア女川に移して再び設置した「きぼうの鐘」。折りと願いを込めてつくられた 左／女川駅に隣接している女川フューチャーセンターCamass。「カマス」と読む。女川弁で「かます＝かき混ぜる」と英単語の「Mass=たぐさんの・大勢で」の2つを組み合わせ、女川で人々がつながり、新しいことやものが生まれる場所にしたい、という思いを込めた



女川町復興計画で示された町の断面図



「減災」という考え方でデザインされた女川町の断面イメージ。女川町復興まちづくり説明会(町中心部)の資料(2012年7月)より作成。図は、町を住宅、商業などのエリアごとに、土を盛って町を全体的にかさ上げることがわかる。東日本大震災と同規模の津波が発生しても住宅エリアには到達しない

これからの10年は
また種を育てる

須田町長によれば、女川町の復興は97、98％くらいの達成率だ。住宅の再建は2年前に終了し、生活に必要なインフラもほぼ完成している。震災の被害がなくても、町の復興計画に沿ってお店や住居を移動していた方もいます。町のすべての方々に協力していただき、ここまでくることができました。以前の女川の姿を懐かしみつつも、シーパルピアで買い物をしたり食事をしたりして楽しんでおられます」と須田町長は、新しい町が町民に受け入れられていることを感じている。

しかし町は復興がゴールではない。震災前から過疎化が進んでいた女川町では、これから町をどう継続していくかは大きな課題だ。そのためには「残る、戻る、そして、来たる人」がキーになると考えます」と青山さんは話す。

たとえば、駅前にある女川フューチャーセンター Camass (カマス) は、震災後の復興支援をきっかけに町外から来た若い人たちが設立した町内外をつ

町全体を高くして 津波に備える

そこで描かれた女川町の未来を象徴するのが、冒頭で紹介した女川駅から一望できる海だ。東北有数の漁港として栄えてきた女川の海が見える風景は、海とともに生きる町を宣言しているようだ。「女川では震災で10人に1人が亡くなりました。しかし、海の恵みとともに生きてきた町でもあります。その歴史や文化を後世に継承し、海は怖いだけではないということを伝えていきたいと思いました」と須田町長は話す。

そのために町が選んだのは、沿岸地域の土地全体の海拔を高くして津波に備える方法だった。「女川の地形は海のすぐ近くまで山が迫っているため、平地が少なく、防潮堤を作ると貴重な平地部を広範囲で犠牲にすることにもなる。

そこで、高台の移転団地造成で出た土をそのまま低地部の盛り土に使い、地盤そのものをか

さ上げしました」と須田町長は説明する。

一番高い地区には住宅地、それより低いところは駅や市街地、漁業関係の施設を集めるデザインだ。町の中心となる公共施設や商業施設を1か所に集め、利便性に富んだ暮らしやすい町、コンパクトシティの発想に基づいている。女川町役場の公民連携室室長で、震災当時は



震災遺構として残された旧女川交番。津波の引き波で基礎のコンクリート杭から横倒しになった。津波のエネルギーの凄さを物語る。「ぜひ残してほしい」という中学生の声で遺構となった

女川町商工会の事務局長を務めていて、FRKの事務局としてまちづくりに関わっていた青山貴博さんも「震災後の女川の町に必要なものは、(住民が)住み残る町へ、そして一度出てしまった人が、住み戻る町」。そのためには、機能的のあるコンパクトシティという考え方がしっくりきました」と話す。



町内の当時の中学生が、将来の津波の被害を最小限にするために設置を考えた「女川いのちの石碑」。津波が到達した町内22か所に建てられている



通学路を歩く小学生。町長はじめ多くの大人たちが、この子どもたちが大人になったときにも住みたいと思えるまちづくりに力を注いでいる



震災遺構の周囲に設置されたパネルで、まちづくりのステップを説明する青山貴博さん。「10年を経て、もう一度公民の連携を確認して、次の10年に向けて歩んでいきたいですね」

町の新たな 特産品の誕生

福島県広野町で、バナナの栽培が始まったのは2018年。町の新しい特産品としてバナナを温室で栽培し、農業と観光の復興を目指すプロジェクトだ。「地震と津波、その後の原子力発電所の事故で、広野町は全町避難を余儀なくされました。現在では8割以上の住民が戻ってきていますが、将来に向けてふるさとの復興のシンボルになる新事業を興したいと考えていました。広野町は温州みかんの北限の地として知られており、福



広野町
遠藤 智 町長

えんどう・さとし●福島県広野町生まれ。広野町議会議員として、東日本大震災災害復興に関する特別委員会委員長を経て、2013年11月に広野町町長に初当選。以来、町の復興・創生に取り組む。「バナナの茎の再利用は、エコやSDGsの視点から必要な取り組みです」

福島県広野町 人と人とのつながりから 生まれたバナナペーパー

福島県広野町で、東日本大震災からの復興を象徴する新しい特産品が生まれている。北国で育ったバナナ「綺麗」だ。さらに、バナナの茎を再利用し、バナナペーパーをつくるプロジェクトが多くの人々の協働で実を結んでいる。



島県はフルーツ王国。広野町でバナナができれば、町の人たちに勇気と希望を与えると考えました」と遠藤智町長はバナナ栽培の背景を語る。
(株)広野町振興公社が事業の主

体となり、国産バナナを栽培している岡山県の農業法人から苗を購入し、ノウハウを教わりながら農業を使わない栽培に挑戦。翌19年には小ぶりで甘く、ねっとりとしたバナナが収穫できた。

廃棄されるバナナの 茎を再利用

おいしいバナナはできたが、収穫後、高さが2メートル以上にもなるバナナの茎は切り倒され、葉とともに廃棄物とされている。「葉をレストランで活用できるのではないか」「染色の素材として使ってはどうか」など、葉や茎の再利用について町外の方から教えてもらった。その一つが、茎を利用して紙、バナナペーパーをつくるアイデアだっ



バナナ栽培のきっかけや苦労話、バナナのおいしさなどを語る株広野町振興公社社長の中津弘文さん。ももとは役場の職員だった。「今は町の復興のために、バナナだけでなく、パパイア、コーヒーの栽培にも取り組んでいます」

た。公社社長の中津弘文さんは、「広野小学校とイオン心をつなぐプロジェクト、その両方から紙をつくれないう話をしていただき、一緒に挑戦してみることになりました」ときっかけを話す。

しかしバナナから紙をつくる経験は誰にもなかった。そこでイオン心をつなぐプロジェクトの人脈をたどって製紙会社の紙づくりや海外でのバナナペーパーづくりなどをリサーチ。その結果、隣接するいわき市遠野町で400年の伝統がある遠野和紙の復活に取り組む、いわき市地域おこし協力隊の平山祐さんと綾子さんに協力を仰いだ。「和紙の原料となる楮を主体に、バナナの茎を粉末にして混ぜたところ、いい風合の和紙になりました。漉いた紙を乾かすときに、ほんのりバナナの甘い香りが漂うのが不思議なんです」と笑う平山さん。

心に残る 卒業証書づくり

20年12月、広野小の6年生16人が、卒業証書用に手漉きの和紙づくりを行った。指導した平山さんは、「大人でも漉く作業は

イオン心をつなぐプロジェクト Project Aeon Joining Heart

東日本大震災の被災地の復興、創生に、オールイオン(労使一体)で取り組むプロジェクト。2012年3月に活動をスタートさせ、植樹、被災地でのボランティアなどを行ってきた。16年からは、復興の次のステージである成長・創生に向けた「イオン 未来共創プログラム」を展開している。

難しいのですが、みんなとても上手で驚きました」と話す。卒業証書づくりは19年に続いて二度目の試みとなった。「和紙は1000年保つそうです。それほど残るものを自分の手で卒業証書としてつくったことは、故郷の思い出として心に刻まれるはず。子どもたちは一人ひとりが復興大使。この経験を町の復興の誇りとできるよう学校としても継続したいですし、町内のほかの学校にも広がってほしいですね」と井戸川浩校長は話す。バナナの栽培をきっかけに、人と人とのつながりが生まれたバナナペーパー。町ではこの紙で、役場職員の名刺をつくる検討もしている。バナナとともに広野町の特産として、さまざまな形で使われていくのではないだろうか。



広野小学校の井戸川浩校長。「2019年に3年生が、総合的な学習の時間でバナナ栽培を見学したときにバナナペーパーについて知ったことが、ここまでの広がりを見せています。3月に卒業生に手渡すのが楽しみです」



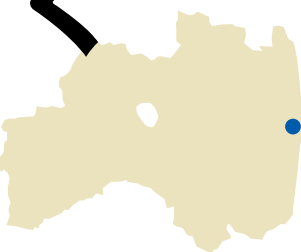
上／遠野和紙の復活に取り組んでいる平山祐さん、綾子さん 下右／和紙の主原料、楮。地域の方々と一緒に栽培したものを使っている 上左／平山さんたちの工房。遠野町の学校の卒業証書をつくっていた経験が、今回のプロジェクトで生かされた。さらに、いわき市でも遠野和紙の卒業証書が広がりを見せている 下左／バナナの茎を加工した粉末。これを混ぜて和紙にする



上／できあがった卒業証書を手にする広野小学校の6年生たち。どんな思いで巣立っていくのだろうか 左／平山さんらの指導を受けながら、世界で1枚だけの紙を漉いた 右／バナナの茎が再利用された卒業証書。一生の宝物になる



新しいエネルギーの町として未来へつなぐ



東日本大震災後、福島第一原子力発電所の事故で、全町に避難指示が出された福島県浪江町。震災から6年を経た2017年に、ようやく町の一部で町民の帰還が始まった。しかし、震災前には2万人を超えていた住民のうち戻っているのはおよそ1500人。今、町は帰還を進め、持続可能なまちづくりに向けて環境に配慮した新しいエネルギーを軸とした復興の取り組みを加速させている。

2020年8月、浪江町に「道の駅なみえ」がオープンした。地元産の新鮮な野菜や魚、日本酒などが並び、フードコートでは海鮮丼や名物のなみえ焼そば、フルーツなどが堪能できる。観光の目玉として地域の



なみえ水素タウン構想のマップ。町内の農水産業や商工業、教育、福祉などあらゆる分野で水素をエネルギーとして活用する実験が行われる

人々の期待を担う新スポットだが、この道の駅はそれだけにとどまらない。

「ここでは、風力発電や太陽光発電、水素を使った燃料電池など、多様なエネルギーを利用しています。いわば浪江町のエネルギーのショールームなんです」と、浪江町役場産業振興課の渡邊友歩さんは説明する。

多様なエネルギーを組み合わせる

浪江町は2017年に第二次復興計画を発表。そのなかで再生可能エネルギー推進計画を策定し、「エネルギーの地産地消」へのチャレンジを提言した。「町

は原子力発電所の事故で甚大な被害を受けました。また近年、資源が枯渇せず継続的に利用できる再生可能エネルギーへの転換の動きも加速しています。そこで、新しいエネルギーの町としてそれらの活用を復興に結び付けたいと考えています」と渡邊さん。福島県も原子力に依存せず、持続的に発展できる社会のために再生可能エネルギーを利用する「先駆けの地」として、浪江町の計画の後押しとなった。

では、町ではどのような再生可能エネルギーの活用を考えているのだろうか。「太陽光や風力



浪江町役場 産業振興課
産業創出係 副主査
わたなべ ゆう は
渡邊友歩さん

FH2Rから運ばれた水素を貯蔵するタンク。町の子どもたちが描いた絵がプリントされている。水素はパイプで後方の燃料電池に送られ、空気中の酸素と反応して発電し、道の駅に電力が供給される



道の駅の燃料電池からは、電気と熱が発生する。この蛇口からは、その熱を利用した温水が出る

発電は皆さんもすぐイメージできるとしています。ほかには波力発電、小水力発電、バイオマス発電など、電気を得る方法はさまざまです。一つひとつは小規模ですが、それらを組み合わせることでのくらい安定して電気を供給できるのかを試していきたいと考えています」と渡邊さんは話す。その実証実験の場が、冒頭で述べた「道の駅なみえ」での取り組みだ。

水素社会の先駆けに

もう一つ、浪江町には新エネルギーのシンボルとなる場所がある。2020年に開所した「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R：Fukushima Hydrogen Energy Research Field）」町に譲渡された原子力発電所の建設用地に建てられた、世界最大級の水素製造拠点だ。

FH2Rで製造した水素の一部は道の駅なみえに運ばれ、燃料電池に利用されている。「ほかにも電柱にパイプラインを設置して水素を運ぶ実験や、みやぎ生協などと協力して家庭や商業施設に燃料電池を設置する実験、水素を燃料とする燃料電池



道の駅なみえに設置された風力発電。傍には、電気自動車用の充電施設も設置されている



FH2Rの敷地はおよそ22ha(東京ドームの4倍以上)。そのなかに水素製造装置が設置された巨大な建屋、8本の水素貯蔵タンク、水素搬送設備、管理棟などがあるが、設備を動かす電力をまかなう太陽光パネルが多くの面積を占めている。常時10名前後が勤務し、実用化に向けて水素製造時の適切な運転の条件や使用による劣化など、さまざまなデータを取っている



町のエネルギーのショールームでもある道の駅なみえ

自動車を公用車として導入するなど、いろいろな取り組みを進めています」。20年には「なみえ水素タウン構想」も発表。町の本気度が伝わってくる。「水素エネルギーの実用化には、法律やコスト、技術などさまざまな課題があります。浪江町という

運び、使うことで、FH2Rとともに課題解決につなげていきたいと思っています」。FH2Rがある棚塩産業団地南側でも水素などの利用を促進し、再生可能エネルギー100%の「RE100産業団地」を整備することを目指している。多くの自治体や官公庁、企業などが視察に

訪れ、新エネルギーの町として浪江町は知られつつある。

子どもたちが誇れる故郷に

「町の人たちにとっては医療や教育、生活など身近な課題の解決が最優先で、エネルギーはそれほど関心が高くないとい

うのが現状です。しかし、町の子どもたちはFH2Rを見学したり、トヨタの社員の方から燃料電池自動車について教えてもらったりと確実に水素エネルギーについて詳しくなっています。彼らが大人になったときに、自分の故郷が日本の水素エネルギー社会の先駆けとなっ

たことを誇りに思ってもらいたい。そのための今の取り組みだと思っています」。今、浪江で暮らす人たちのためだけでなく、これから浪江を担っていく子どもたちのために、日本の水素社会のトップランナーを目指す、そんな町の決意が渡邊さんの言葉から伝わってきた。

ここが世界最大級の水素製造拠点！

福島水素エネルギー研究フィールド

2020年3月7日、福島県浪江町北東部で建設が進む棚塩産業団地の一角に開所した福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)。製造時と使用時に二酸化炭素を排出しないエネルギー、水素の実用に向けた実証実験が行われている。

水素の製造から消費までを検証

「水を電気分解して水素をつくり、貯蔵し、必要などころに効率よく運んでエネルギー源として活用する。この一連の流れを検証しながら、実社会での水素利用の可能性を探ることです」

FH2Rの目的について新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)で長年水素エネルギーの研究に携わってきた大平英二さんはこう語った。

今、私たちが使っている電気や灯油、ガスなどのエネルギー。元は石炭や石油、天然ガスで、使用すると必ず、地球温暖化の一因となっている二酸化炭素が発生する。水素は炭素を含まないので、エネルギーとして使う際に二酸化炭素を出しません。またFH2Rでは水素製造に必要な電力も、太陽光発電を利用しています」と施設全体

で低炭素にする、と大平さんは説明する。

「世界的に水素利用への関心が高まっていて、温室効果ガス排出削減などの国際的な枠組みを採択したパリ協定でもその推進が宣言されました。人類にとって、大きな可能性を秘めたエネルギーであり、日本も2050年には温室効果ガス排出のネットゼロにすることを宣言し、水素発電を総発電量の10%を視野に入れた目標を立てている。

社会に受け入れられるエネルギーに

現在、FH2Rでつくられた水素は、道の駅なみえとあづま総合運動公園(福島市)、ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ(千葉県)に設置された燃料電池に供給されている。2020東京大会での利用も検討されているという。この実証実験には、自治体はもち

ろん東芝や岩合産業、旭化成、東北電力など多くの企業が協力していて、まさにオールジャパンでの取り組みだ。水素エネルギーの研究は世界各国が進めていて、やらなければならぬ課題。この施設を通して、水素という新しいエネルギーが日本の社会に受け入れられる、さらにはFH2Rで得た知見を世界に広げる、そんな道筋をつけられればと思っています」

ろん東芝や岩合産業、旭化成、東北電力など多くの企業が協力していて、まさにオールジャパンでの取り組みだ。水素エネルギーの研究は世界各国が進めていて、やらなければならぬ課題。この施設を通して、水素という新しいエネルギーが日本の社会に受け入れられる、さらにはFH2Rで得た知見を世界に広げる、そんな道筋をつけられればと思っています」



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 次世代電池・水素部 燃料電池・水素グループ 統括研究員

おおひら えいじ 大平英二さん



沖縄の自然や文化を次の世代へ



沖縄の豊かな自然や文化を次の世代へつなげていくため、何ができるのか。
「笑い」で人々の気持ちを明るくし、元気づけているガレッジセールのゴリさんと川田さんに、エンターテインメントが持つ力と沖縄の海や山の魅力について聞いた。

マスク越しでも
笑顔はわかります

——ゴリさんは2014年から「おきなわ新喜劇」をプロデュースされていて、今年はイオンモールでのツアー*も行われます。おきなわ新喜劇にはどんな思いを込めていますか？

ゴリ おきなわ新喜劇は、沖縄のことを楽しみながら学んでもらうエンターテインメントショーです。方言や音楽はもちろん、沖縄独特の文化や歴史を「チャンプルー」して客席の皆さんに届け、一緒に笑ったり、踊ったりしてもらっています。イオンモールのツアーでは、歌手になる夢をもった沖縄の女の子をめぐるドタバタ劇を楽しんでいただきます。

——ただ、昨年から続く新型コロナウィルスの感染症拡大でエンタメ業界も大きな影響を受けていると思います。コロナ下でエンタメにできることは？

川田 昨年12月、沖縄の皆さんと一緒に沖縄の元気を世界に発信する「LAUGH & PEACE LIVE」というイベントがあり、多くのアーティストや芸人とともに僕たちも参加しました。知り合いも観に来てくれて、「コロナで落ち込んでい



ガレッジセール
川田さん

ガレッジセール
ゴリさん



右／沖縄県41市町村の魅力を発信する「島ぜんぶでおーきな祭」で進行役を務めるガレッジセールの川田さん 左上2点／沖縄の自然を楽しみ、その魅力を発信するガレッジセールのお二人 左下／おきなわ新喜劇の舞台から。沖縄のことを楽しく学んでもらうストーリーになっている

た気持ち明るくなって、元気になった。ありがとう！」と言ってくれたんです。それはうれしかったです。舞台から客席を見ていると、マスク越しでもお客さんの笑顔がわかります。逆に僕らもそれに勇気づけられ、笑い」の力をもらっています。

ゴリ 昨年4月に最初の緊急事態宣言が出た時には、あらゆるイベントが中止になり、まず真っ先に必要とされないのはエンタメなのかと落ち込みました。でも、その後しばらくして、やっぱり求められるのはエンタメなんだと思い直しました。厳しい日々が続くなか、緊張が続くと人はどこかおかしくなりますからね。ばかばかしいものを観ていただいて、その時間だけでも笑って「また明日もがんばるか」と思ってもらおう。エンタメはそんな力になれるます。

生き物がいつばいの世界がここにある

——お二人は舞台から沖縄の魅力を発信されていますが、沖縄の海や山の魅力を教えてください。

川田 僕は釣りが大好きで、海釣りをしていきます。沖縄での釣りの魅力はカジキマグロなどの大物も釣れるところ。釣りに飽きたらそ



客席が「笑い」で一つになり、一斉に揺れるように見えることがあるという。その光景にガレッジセールの川田さんは無上の喜びを感じる。それが二人の「力」の源になる

のまま海に飛び込んで、泳いだりします。そんなことができるのは、沖縄の海ならではですね。

——環境の変化を感じることは？

川田 サンゴ礁の減少は実感します。昔はサンゴ礁がきれいな場所がたくさんあったのですが、今は沖縄の離島に行かないと見られないかもしれません。魚の数も減っているように思います。環境を守る活動として、仲間と海岸のゴミ拾いをしています。ただ、海の中で起きている生態系の変化に、個人としてどう対応していけばいいのかよくわからないというのが正直なところなんです。

ゴリ 僕にとって沖縄の海は泳ぐところではなく、ゴーグルとシュノーケルをつけてプカッと浮かぶところ。海の中の色とりどりの

魚を眺めるところなんです。ビーチで遊んでいる人がいたら、「すぐその海の中には、生き物がいっぱいいて、こんなにきれいな世界があるんだから、見ないともったいないよ」と思ってしまうんです。そして沖縄の海がすごいところは、見慣れているはずの僕らが、決して見飽きないこと。海の表情は見るたびに違います。サンゴ礁の減少については僕も心配で、サンゴの植え付け活動の支援を毎年続けています。

山には、子どもの時、両親に連れられて（沖縄本島北部の）山原（やんばる）によく行きました。1月に咲くサクラを見に行ったり。芸人になっ

てからは映画の撮影で行きました。地元の方は（天然記念物に指定されている鳥類の）ヤンバルクイナの寝場所もよく知っていて、教えてくれるんです。天然記念物があんなところで寝ている！って興奮しました。

——2019年10月に起きた首里城の火災では、全国から支援があったと思います。どう感じましたか？

首里城を題材にした王様のドタバタコメディを、おきなわ新喜劇でやってみたいなと考えています。

川田 僕の実家は首里城のすぐ横にあり、火災はショックでした。ただ、各地からボランティアの方々が来てくださって、復元に向けて赤瓦から漆喰をはがす作業などをしてってくれています。ウチナンチュ（沖縄人）だけではなく、全国の人、海外にいる人までが首里城のことを思い、応援してくれていることに勇気づけられました。首里城の復元を願う人、応援してくれる人のためにも、僕らもまたがんばろうという気持ちでいっぱいなんです。

ガレッジセール

中学校の同級生だったゴリ（1972年生まれ）と川田（1973年生まれ）で、1995年にコンビを結成。沖縄県那覇市出身。渋谷公園通り劇場のボランティアスタッフから芸歴をスタートさせた。吉本興業所属。2009年から始まった沖縄国際映画祭では毎年MCを務め、初期から映画祭を支えている。

首里城復興を継続的に
支援します！



イオン 首里城復興
支援プロジェクト
御万人ぬくる首里城
(みんなの心 首里城)

琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄華を誇った、世界文化遺産の首里城。沖縄の人々の誇りであり、心の拠りどころであるこの首里城が、2019年10月31日未明に発生した火災で大きな被害を受けました。

イオンは、2026年とされる首里城正殿の復元までを継続的に支援していくため、「イオン 首里城復興支援プロジェクト」を発足。2020年は、沖縄県内の店舗で店頭募金や首里城のパネル展などを実施したほか、イオンの地域振興型電子マネー「首里城WAON」や、イオンカードのポイント活用などを通じてお客さまとともに支援活動を行いました。また、(公財)イオンワンパーセントクラブは向こう5年間で5億円の支援を決定。「首里城を再び」と願うすべての人々の心(くる)に寄り添います。



上／首里城公園は標高120～130メートルの小高い丘の上に立地し、那覇の街並みも一望できる。右／「首里城WAON」。ご利用金額の0.1%は首里城の復興支援に役立てられる。(寄付先：一般財団法人 沖縄美ら島財団)



SDGs～Sustainable Development Goalsの略。
2015年9月「国連持続可能な開発サミット」にて採択された2030年までに達成すべき地球規模の17の目標と169のターゲットを定めた行動目標。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

CTION



3月の「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」の様子。お客さまはレジで発行される黄色いレシートを、応援したい気持ちを込めて専用BOXに投函する。「お買物を通じて東北の復興に参加できる」というお客さまの声が多数寄せられた

これからも東北の子どもたちの未来を応援

東日本大震災からもうすぐ10年——。イオンは、被災地域のお客さまの日々の暮らしを守るとともに、全国のイオン店舗での東北産品の積極的な販売拡大などを行い、復興を支援してきた。2012年には、東北沿岸部に再び緑が戻ることを願い、植樹活動を10年計画でスタート。2019年度までに、地域のお客さまとともに植えた苗木は累計31万本に達している。また、震災直後から継続しているボランティア活動には、10年間で約37万人超の従業員が参加し、時間の経過とともに変化する各地域のニーズに応えながら活動を続けてきた。

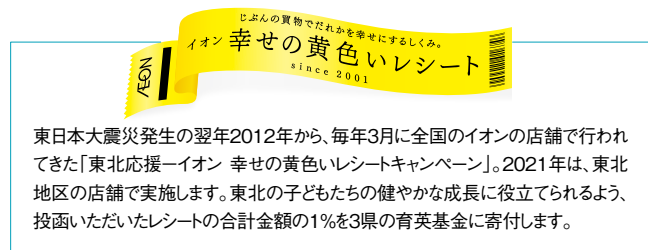
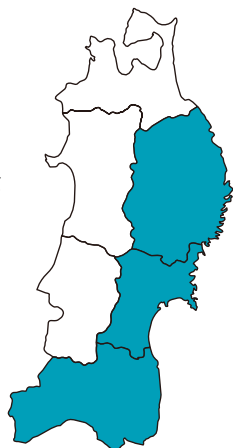
このような取り組みの一つ、「東北応援イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客さまとともに岩手・宮城・福島の子どもの未来を応援する活動だ。毎年3月9日から11日の3日間、当キャンペーンを実施。お客さまが専用ボックスに投函するレシート合計金額の1%を東北3県の育英基金に寄付してきた*。寄付先の一つ、「いわての学び希望基金」では、震災津波により被害を受けた子どもへの奨学金給付をはじめ、教科書や部活動の遠征、また通学にかかる費用の負担軽減などを目的とした子どもたちの「暮らし」と「学び」に要する資

金として活用されている。「被災地の高校生が希望する進路を実現できるよう、さまざまな講座やキャリア教育の機会提供にも役立てられています。支援を受けてきた多くの子どもたちは今、夢を叶えて社会に出ていこうとしています。今後も子どもたちにとって必要な支援を行っていきますので、温かく見守ってください」と、同基金の事務局梁井貴志さんは支援に対する感謝の気持ちを語る。

今年は、3月5日(金)から3月11日(木)までの7日間、東北地区の約270店舗で同キャンペーンを実施。地域のお客さまとともに、東北復興を担う次世代への支援を行っていく。また、全国のイオン店舗においても東北フェアの開催、東北復興支援WAONによる育英基金への寄付など、全国のお客さまとともに東北を応援する取り組みも継続していく。

2013年～2020年
8年間累計寄付金額
約8億8,565万円

寄付先:岩手・宮城・福島3県の育英基金
「いわての学び希望基金」
「東日本大震災みやぎこども育英募金」
「東日本大震災ふくしまこども寄附金」



東日本大震災発生翌年の2012年から、毎年3月に全国のイオンの店舗で行われてきた「東北応援イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」。2021年は、東北地区の店舗で実施します。東北の子どもたちの健やかな成長に役立てられるよう、投函いただいたレシートの合計金額の1%を3県の育英基金に寄付します。



上右／クルックフィールズ立ち上げの時から有機農業で野菜を育てている伊藤さん 上左／現代美術家、草間彌生の作品*が園内を彩る 下／園内の中心にあるピクニックエリア。イベントを開催することも

大いなる哲学を持ち、
エシカルな食の場を提供する

Sustainable Restaurant

Vol. 8

食材が生まれる場所と とても距離が近いレストラン

千葉県木更津市に広がる広大な敷地で、農業を中心とした循環型の取り組みを行っている「クルックフィールズ」。その恵みを料理で味わえるのがレストラン「ダイニング」だ。

「ダイニング」のいちばん人気は、日替わりの農場ランチプレート。お皿からあふれんばかりに盛り付けられたみずみずしいサラダ。茹で卵は健康的に育てられた鶏が生んだもの。コンソメスープのほろほろとやわらかいお肉は近隣で捕獲されたイノシシ。自家製酵母でふくらんだパンは、噛むほどに味わいが深くなる。「ダイニング」の料理の魅力が詰まった一皿だ。「食材のほとんどはクルックフィ

ールズ内で作られているので、鮮度が抜群です。生産と消費の距離の近さは、この魅力です」とシェフの芝原健太さん。農場の野菜は出荷もしているため、芝原さんは、規格外で販売できないものを積極的に使うようにしている。「卵を産まなくなった親鶏は、普通は肉が硬いので食べないのですが、料理人の知識を生かしてやわらかく食べられるようにしています。その工夫がおもしろいです」。すべてを無駄にしないという考えが徹底されている。

お店の生ごみはコンポストで堆肥にして畑へ。「牛や鶏のフンも堆肥にしている、この中で資源を循環させています」と、農場長の伊藤雅史さんは話す。「農場や牧場などが敷地内にあるので、コロナが落ち着いてきたら、収穫体験や農場ツアーなどを行って、食が生まれる現場を多くの方に知っていただきたいですね」



上／「農場ランチプレート」(¥1,600～税別)はボリュームたっぷり。「料理の内容は、毎日少しずつ変わっていきます」と芝原シェフ。このプレートでしか食べられない料理もあるためリピーターも多い 下右／豚肉とジビエのソーセージ2種盛り合わせ(1,000円、税別)。木更津市とクルックフィールズが共同で作った食肉加工場で、捕獲して30分以内にイノシシやシカなどを処理する。臭みのない美味しい肉で作ったソーセージは、食べ応えがある 下左／畑から料理のインスピレーションを得ているという芝原シェフ



上／天井が高く開放感のある「ダイニング」
下／大きな窓が印象的な外観

クルックフィールズ ダイニング

④ 千葉県木更津市矢那2503
☎ 0438-53-8776
⌚ 11:00～17:00(L.O.16:00)
🔥 火・水曜(祝日除く)
<https://kurkufields.jp>
※営業日時の最新情報は、上記HPにてご確認ください



歩きから走り、走りから歩きへのスムーズな移行を得意とするカサノバで、円を描いて走る練習をする稲葉さん。大会に出場できるのはそのときに最も調子のよい馬だけ。厳しい世界だ

イオンは
パラスポーツを
応援
しています。

WATCH!

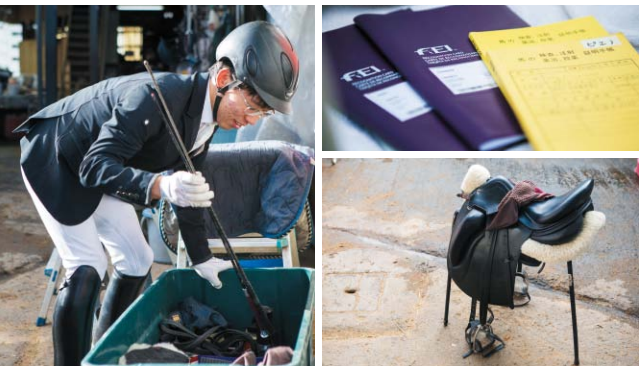
人と馬の信頼関係から生まれる美しさ

馬をさっそうと乗りこなし、馬場内の決められた経路を歩いたり、走ったり……。馬場内での馬の動きの正確さと優雅さ、スムーズさといった美しさを競う競技、それがパラ馬術だ。人が馬を操っているのか、それとも人が馬に導かれているのか——“人馬一体”という言葉があるように、人と馬がひとつとなって演技ができたときに高い得点が出され、観客の心を強く揺さぶる。

「馬術では馬との相性がとても大事です」と話すのは、静岡市内の乗馬クラブで、東京2020大会に向けて練習に励む稲葉将さん。「相性のいい馬と出会うことで、自分の騎乗の力を上げていくことができます」。競技のいちばんのポイントは、馬の能力を引き出せるかどうか。稲葉さんはカサノバとピアノの2頭を中心に、日頃から馬との信頼関係を築いているという。「馬に負担をかけ

ないよう1頭あたり30分程度、複数の馬で練習します。馬の世話もできるかぎり自分で行います」。こうした日々を積み重ね、馬とコミュニケーションを育み、よい演技につなげていく。

パラ馬術は、選手の障がいを補う馬具の工夫が許されているのも特徴だ。稲葉さんは下肢のコントロールが難しいので、鞭で馬に指示を出している。「馬術競技はまず馬の姿や動作の正確さやなめらかさ、また各選手の馬具の工夫などを見てほしいですね。競技は晴れ舞台。たてがみを編み込んでおしゃれをしている馬もいるので、そんなところにも注目してください」



左／鞭やヘルメット、馬の手入れの道具などは選手ごとに管理している 右上／各馬の健康状態などが記入されているパスポート。国際試合用(紫色)と国内用(黄色)があり、試合に出るために必要だ 右下／騎乗に必要な鞍。稲葉さんの鞍は、落馬しても足が引っかからないように工夫されている

静岡乗馬クラブ近くの土手で。河川敷のコースでは本番さながらに練習ができる



蕪

蒸しは、京都の伝統野菜「聖護院蕪」を使った京料理を代表する一品です。ハードルが高いと思われるかもしれませんが、作り方は意外とシンプル。すりおろした蕪をしっかりと泡立てた卵白で和え、野菜や白身魚と共に器に入れて蒸します。その間に葛を練り、できたて熱々のあんを蒸し立てにかけるだけです。この葛あん、料理用語では「銀あん」と呼びます。練っていくうちに透明になっていく過程も楽しいですよ。

店で作るときは伝統に則り、甘鯛やのどぐろ、百合根、きくらげ、銀杏を使います。ご家庭で作るなら魚は、鯛、鱈、剥き蛤、海老などでもよいでしょう。聖護院蕪は入手しづらいかもしれませんが、一般的な蕪で代用できます。百合根、銀杏もなくても構いませんが、最近スーパーでも見かけるようになりましたから、目に留まれば使ってみてください。漢方にも使われるほど滋養があり、寒い冬や季節の変わり目に健康を願う先人の知恵が詰まった料理なのです。それだけでなく、蕪の白さを雪に見立てています。真冬は白を生かした盛り付けにしますが、春が近づくとも芽吹きイメージで菜の花を添えます。日本人ならではの美意識も感じるいいお料理だと毎年感心しながら作っています。



葛あんも冬はとろとろに、春は少し柔らかめにと季節で加減する

聖護院蕪の蕪蒸し

材料(2人分)

聖護院蕪半分(なければ蕪でもよい。その場合2個)、のどぐろ、鯛、甘鯛などの白身魚や鱈など100gくらい、きくらげ(乾燥の場合冷水に4〜5時間浸けて戻しておく)、百合根6片、銀杏4個、卵白卵1個分、昆布3センチ角程度を2枚、菜の花4本、塩適量、酒適量
【銀あん用】水溶き葛粉(片栗粉でもよい)適量、だし汁(一番出汁)180cc、薄口醤油、塩適量、おろしわさび適宜

下ごしらえ

①きくらげは千切りにし、さっと下ゆでしておく。②鱈片を1枚ずつ剥がした百合根、銀杏は2〜3分塩ゆでしておく。百合根は食べやすい大きさに、銀杏は半分に切る。③菜の花はひと口大に切りそろえる。④魚は塩をして15分〜20分ほどしたらキッチンペ

ーパーで表面の水分を拭き、熱湯をかけて霜降りにしてウロコが残っていれば取り除く。⑤聖護院蕪を擦りおろし、ザルに移して水気を切る。

作り方

①角が立つまで泡立てた卵白に、⑤の蕪、①のきくらげ、②の百合根、銀杏などを混ぜて、薄い塩味をつける。②器の底に昆布を敷き、その上に④の魚をひと口大に切ったのせ、酒をひと振りして水滴が器に入らないようアルミホイルなどで覆って蒸し器で7〜8分蒸す。③②をいったん取り出して①を流し込み、③の菜の花をのせて再び蒸し器に入れ、7〜8分ほど蒸す。④(蒸している間に銀あんを作る)一番出汁を火にかけ、薄口醤油と塩で味を調え、沸騰したら火を弱めて水溶き葛粉を少しずつ加えながらお玉でかき混ぜる。最初は乳白色だが、次第にとろみがつき透明になったらできあがり。これを蒸しあがった③の上にかけて、おろしわさびをのせる。

イオンが取り組む「食と健康」シェフパートナーズ料理塾より

家庭で再現！シェフのヘルシーレシピ⑧ 聖護院蕪の蕪蒸し

京料理を代表する名品、蕪蒸し。

すりおろした白い蕪を雪に見立てた冬の定番ですが、そこに菜の花を添えれば、

春の到来をイメージさせるお料理に。

京料理に造詣の深い浅見健二さんに、体をいたわり、旬を愛でる料理を教えてくださいました。



銀座あさみ
東京都中央区銀座8-16-6 ときわぎ館1F
☎03-5565-1606

銀座あさみ
店主 浅見健二さん

調理師専門学校を卒業後、京料理の名店などで20年修業。料理長としての経験を積んだのち2000年に独立。奇をてらわず、無駄を削ぎ落とした懐石料理の真髄を季節感とともに丁寧に表現し続けている。

